

経営比較分析表（平成29年度決算）

宮崎県 川南町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 漁業集落排水 | H2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 6.63 | 82.63 | 2,700 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 15,929 | 90.12 | 176.75 |
| 處理区域内人口(人) | 處理区域面積(km ²) | 處理区域内人口密度(人/km ²) |
| 1,047 | 0.18 | 5,816.67 |

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 平成29年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率(%)は、100%を下回っており、経営の健全性が確保されているとはいえません。区域内人口・加入人口ともに減少傾向にあり、使用料収入の増加が見込めないためコスト削減が必要ですが、供用開始から20年以上経過しており、機器修繕料等の費用が増加するなど厳しい状況にあります。
- ②企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値を下回っています。起債償還が平成34年度で終了予定で残高が減っていることが要因と思われます。
- ③経費回収率は、類似団体平均値を上回っているものの100%を下回っており汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われている状況であるため経営の健全性が確保されているとはいえません。
- ④汚水処理原価は、おおむね150円/m³で推移しています。類似団体平均値を下回り低コストで効率的な処理が行われています。
- ⑤施設利用率は、類似団体平均値を上回っていますが、50%を下回り余裕がある状況で効率性が確保されているとはいえません。区域内人口・加入人口ともに減少傾向にあり高齢化等で新規加入が少なく大幅な水洗化率向上は見込めません。
- ⑥水洗化率は、微増傾向にあるものの類似団体平均値を下回っており経営の健全性・効率性が確保されているとはいえません。区域内人口・加入人口ともに減少傾向にあり利用率の向上が見込めないため現状維持に努めます。
- ⑦設備利用率は、漏水個所の有無確認が必要と思われます。漏水処理施設に対する機能保全計画を平成32年度策定予定にしており、計画を持って適正な事業経営に努めます。

2. 老朽化の状況について

- 管渠は、耐用年数を超えたものはなく早急に行う必要の更新事業はないため、管渠改善率は数値がありません。しかし、有収率が低い傾向にあり、管渠点検（漏水個所の有無確認）が必要と思われます。
- 排水処理施設に対する機能保全計画を平成32年度策定予定にしており、計画を持って適正な事業経営に努めます。

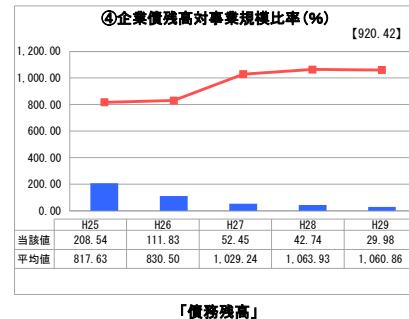
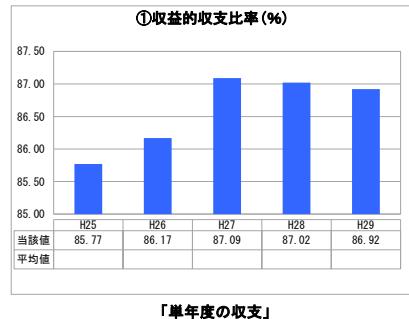
全体総括

区域内人口・加入人口が減少傾向にあり料金收入増が見込めないためコスト削減などを行い経営の健全性を高める必要がありますが、供用開始から20年以上経過しており機器修繕料等の費用が増加するなど厳しい状況にあります。

今後、限られた財源の中で優先順位をつけた更新計画書策定や適切な料金水準について検討する必要があります。

経営戦略については平成30年度までに策定の予定です。

1. 経営の健全性・効率性

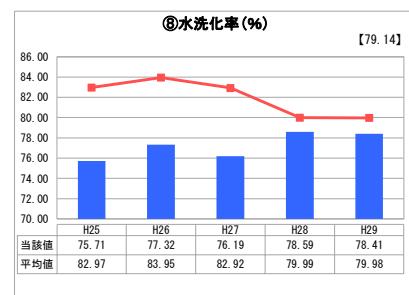
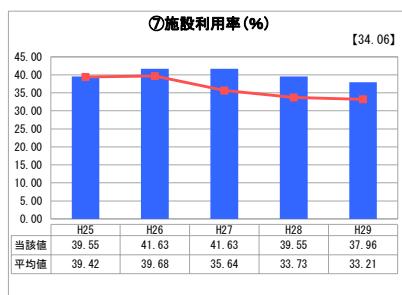
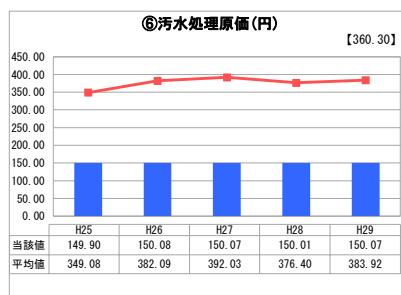
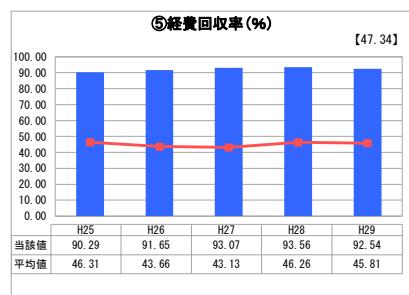


「単年度の収支」

「累積欠損」

「支払能力」

「債務残高」



「料金水準の適切性」

「費用の効率性」

「施設の効率性」

「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「管渠の経年化の状況」

「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。